

加古川中央市民病院

2019年度 地域連携会議のご案内

2019年度地域連携会議の日程及び開催場所が決定いたしました。多数の皆様のご臨席を賜りますようお願い申し上げます。

開催日時 2019年5月30日(木)

17:30~20:30

開催場所 加古川プラザホテル

学術講演会、当院の診療紹介及び意見交換会の3部構成を予定しています。

会議の詳細及び出欠のご案内につきましては、3月中旬から下旬にかけて発送予定です。どうぞ宜しくお願い致します。

患者支援センターからのご挨拶

いつもお世話になり、ありがとうございます。東播磨医療圏における地域包括ケアシステムの推進に向けて、各地域の医療機関の皆様と連携が強化できるよう広報誌にて様々な情報を発信させて頂いてきました。今年度はチーム医療を中心にご紹介してきましたが、ご参考になりましたでしょうか。

まだまだご満足頂ける内容には至らないと思いますが、次年度も引き続き皆様から頂いたご意見を基に、この医療圏の地域包括ケアシステムがさらに進み、地域の医療機関との連携がより強化できる広報誌を発行したいと考えております。

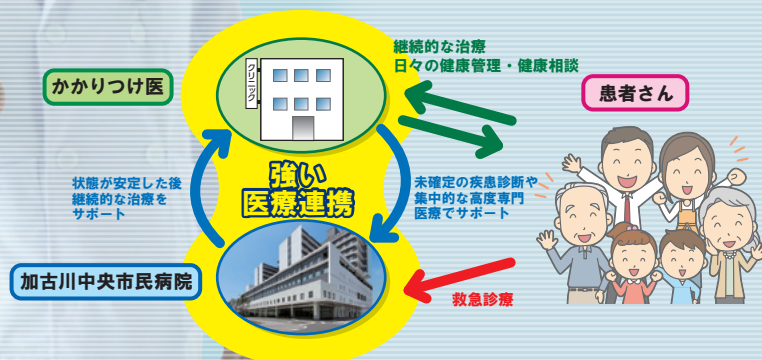
今後とも当院の地域連携について、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

患者支援センター 副センター長 猿渡かおり

『連携医紹介』 ページの掲載について

こちらでは日頃から地域医療連携を図り、ご協力いただいている医療機関の先生方を順次ご紹介しております。

掲載希望の先生方は、ぜひ加古川中央市民病院 地域連携室までご一報ください。お待ちしております。



患者支援センター地域連携室

予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653

その他 TEL.079-451-8652 / FAX.079-451-8654

http://www.kakohp.jp/medical_person/



きらり

vol.17

加古川中央市民病院 地域連携情報誌

2019年3月



加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって
地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



巻頭言
病院の総合力としての
「チーム医療」……………2
診療ドクター紹介……………3
連携医紹介……………6-7
連携室ニュース……………8

特集 4-5

肥満症治療における チーム医療



巻頭言

病院の総合力としての「チーム医療」

かねだ くにひこ

金田 邦彦

理事(兼) 副院長(兼) 手術部部長(兼)
がん集学的治療センター センター長(兼)
がん相談室 室長(兼) 外科 主任科部長(兼)
消化器外科 主任科部長(兼) 患者支援センター センター長

チーム医療という言葉は、昨今の医療の世界においてキーワードの一つになっています。これは院内で多職種が参加したチームを構成して診療を行うことで医療の質を向上させることを目指すという考えです。実際、昨年受審した病院機能評価でも、チームとしての活動力が大きな評価項目となっていました。現在、当院では前号の特集にありましたNSTをはじめとし、感染制御（ICT）、緩和ケア、心臓リハなど10以上のチームが組織横断的に構成され、それぞれが医療のレベルを上げるべく活躍しています。今回の特集にある肥満外科治療を立ち上げるにあたって、診療部はもとより薬剤部、栄養科、リハビリ科など多くの職種の方に参加してもらうことで順調に滑り出すことができました。

チーム医療の重要性について少し考えてみたいと思います。病院は多くの専門職からなる縦の組織の集合体です。それぞれの職種は独立性が高く専門的であるがゆえに、ともすればとなりの組織とのつながりが希薄になりがちです。そこに組織をまたぐ形でチーム医療という横のつながりを新たに構成することで、組織としてより盤石な体制をとることができます。

当院は200名を超える医師をはじめとして総職員数は1400名強をかかえる大きな組織であり、同じ病院の中に勤務していてもお互いに顔も名前も知らない人がたくさんいます。そこで職種の垣根を取り払ってチームを構成して医療に携わることで、違う職種であっても職員同志が少しでも顔の見える関係を築き、そこから生まれるコミュニケーションが組織に潤滑油を与え、より良い医療の提供につながるのではないかと考えます。

実際チームで活動していると他の職種の話を聞くことで、見えなかった視点や気づかなかった問題点などが浮かび上がることはよくあり、それらを改善することが組織としての成熟につながることを経験します。

このようにチーム医療はまさに病院の総合力を反映する指標の一つであります。これがうまく実践できているかどうかでその病院の評価が決まるといっても過言ではありません。

これからもチーム医療を促進して地域の医療に貢献していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

診療ドクター紹介

当院の診療担当医師を紹介いたします。ご紹介頂く際にご参照ください。

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 耳鼻咽喉科

検索



耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科 主任科部長

安井 理絵

専門分野

耳鼻咽喉科一般
小児疾患



いつも患者さんをご紹介いただきありがとうございます。

加古川市民病院→加古川西市民病院→加古川中央市民病院と耳鼻咽喉科を担当させていただいております。当初の2名体制から現在は4名体制へと倍増しました。

入院手術症例はほぼ全例全身麻酔になっていますが、外来では局所麻酔の手術も行っています。入院期間は耳、鼻の手術は5～6日、扁桃の手術は出血のリスクのため少し長くて9日間となっています。できるだけ手術待ち期間も短縮して、患者さんの満足が得られるよう鋭意努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科 医長

高原 慎一

専門分野

耳鼻咽喉科一般
鼻科学



耳鼻咽喉科全般また鼻科学を専門分野として、副鼻腔炎、鼻副鼻腔腫瘍、鼻副鼻腔嚢胞などに力を入れて、手術加療を中心に診療させて頂いております。

治療を受けられる患者さんにわかりやすく説明を行い、その上で最善の治療を行うことを心がけております。

治療困難な症例や緊急を要する疾患に対しても、可能な限り対応させていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

耳鼻咽喉科 専攻医

木村 哲平

専門分野

耳鼻咽喉科一般



2018年4月より耳鼻咽喉科で勤務し、現在は耳鼻咽喉科領域全般について外来、病棟、手術に携わっております。当科の疾患はcommon diseaseから緊急性を伴う咽喉頭感染症・鼻出血、手術を要するもの、不定愁訴が多く伴うものなど様々であり、それらに対して可能な限り患者さんにご理解頂いた上で必要な加療を行うよう心がけております。まだまだ若輩者ではございますが、上司である安井先生、高原先生からも助言を頂きながら励んでいく所存ですので、皆様今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●主な手術症例

鼓室形成術（鼓膜形成術含む）	7
鼓膜換気チューブ挿入術	69
先天性耳瘻孔摘出術	0
内視鏡下鼻副鼻腔手術	155
鼻中隔矯正術	62
粘膜下甲介骨切除術	77
口蓋扁桃摘出術	98

	(件)
アデノイド切除術	54
喉頭微細手術	39
耳下腺腫瘍摘出術	21
顎下腺摘出術	12
甲状腺腫瘍摘出術	2
気管切開術	1

2017年1月～12月



肥満症治療における チーム医療



消化器外科 医長
阿部 紘一郎

我々は肥満症治療において外科手術による治療を担当しております。2014年より保険収載された、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を2018年11月から開始致しました。この手術は胃を縦に切り取り細くすることで食事の摂取量を減らし、減量効果があります。術後の胃の容量は約100mlくらいになります。平均約30～35kg程度の減量効果が半永久的に続くと言われてしています。保険による手術の基準としては ①半年以上の内科的治療を行っている事 ②BMI35以上であること ③糖尿病・高脂血症・高血圧・睡眠時無呼吸症候群のうち1つを合併することがあります。それ以外には術前に十分な減量が必要です。一般的には5%以上と言われてしていますが、術前の減量をきっちりと行うことで合併症のリスクを下げる可以说是いわれています。一般的には外来で減量を行います、高BMIや外来での減量が十分に出来ない場合には入院による減量を行った後に手術を行います。

日本を含む北東アジア人では肥満の程度が比較的軽い段階で肥満関連疾患を発症しやすいことが知られており、そのような観点からこれまで当科では糖尿病を有さない患者さんに対しても肥満治療を積極的にすすめて参りましたが内科的治療に限界のある症例が存在するのも事実でした。この度、消化器外科が高度肥満症例に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を開始したことで肥満症を有する患者さんの予後を大きく改善させるための体制が整ったと言えます。当科ではまず内分泌性肥満でないかどうか精査を行い食事療法、運動療法に加え薬物療法を開始し減量治療を外来・入院で行います。外科転科、手術の後は栄養・体重管理を行い退院後も外来でフォローしております。肥満減量手術をすべきか症例かどうかはチームで何度も吟味してから決定しております。お困りの症例がございましたらご紹介ください。よろしくお願い申し上げます。



糖尿病・代謝内科
主任科部長
楯谷 三四郎



精神神経科 主任科部長(兼)
認知症疾患医療センター長
河野 将英

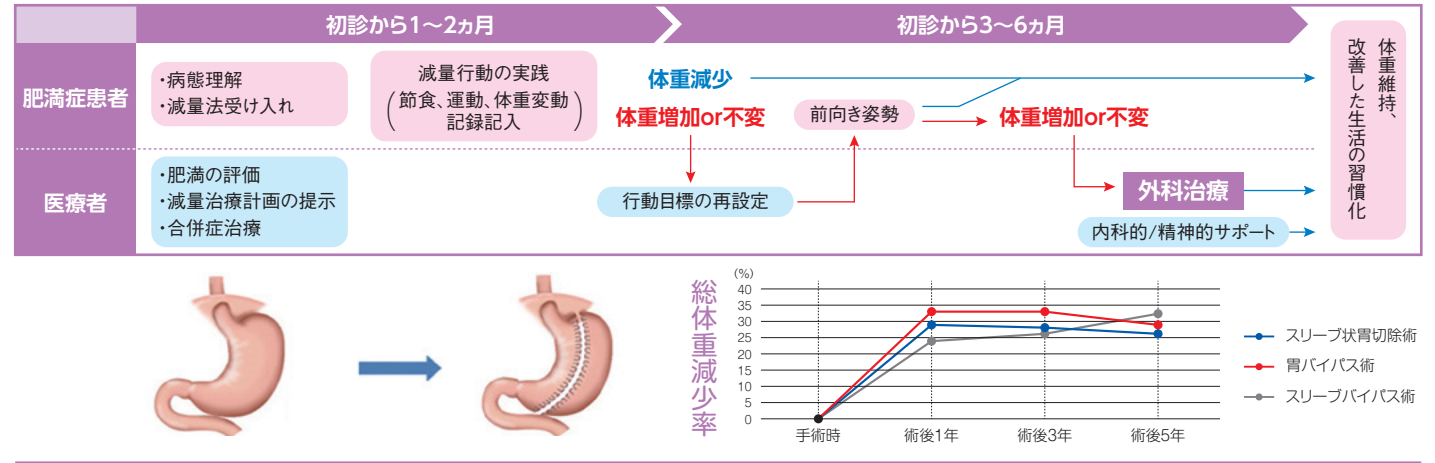
精神神経科医師、臨床心理士なども肥満チームを構成しているメンバーに加わっています。その参加する意味には大きく二つあると思います。一つは、手術適応があるかないかを判断する時に、精神的な面も評価しなければなりませんので、そのために必要です。統合失調症、双極性感情障害、情緒不安定などの精神疾患、あるいは精神的問題がある場合には手術は困難かもしれません。他のチームメンバーと相談して手術適応について考えていきたいと思います。もう一つは、切れ目のない精神的ケアの継続です。初診から手術までは、手術に対する感情の揺れ、つまり、手術を受けるかどうか悩む、手術への過剰な期待あるいはその反動としての不安などがあると思います。術後は、摂食量が少なくなることへの適応の問題などもあるでしょう。そういう様々な精神的な問題に対して、フォローのお手伝いできればと考えています。



地域連携室 ☎ 079-451-8651 FAX 079-451-8653
【予約直通】(受付時間)月～金曜日 9:00～17:00
担当医師 外来
糖尿病・代謝内科 楯谷 三四郎／播 悠介 消化器外科 高松 学／阿部 紘一郎

診療科	月	火	水	木	金
糖尿病・代謝内科	楯谷	楯谷		播	楯谷
				肥満外来初診 (午前) 大井(第1・3・5) 楯谷(第2・4)	
消化器外科		高松		阿部	

外来日にこだわらず、月～金曜日 8:30～17:00にご連絡ください。受診日を手配いたします。



当院リハビリテーション室では肥満外科治療を予定として入院された患者さんに対して有酸素運動と無酸素運動を組み合わせた運動療法を実施しております。運動の実施にあたってはカンファレンスなどから得られた情報を参考にさせていただき、適切な運動強度を設定し、安全に無理なく楽しく続けられるように心がけています。またこれまでの生活習慣全体を患者さんと一緒に見直し、改善することも行っています。具体的には通勤手段に徒歩を取り入れたり、エレベーターやエスカレーターを用いずに階段を使用するなどといった日常生活の中で簡単にできる運動を提案させていただいております。これからも退院後の患者さんの新しい生活がより良いものとなるように多職種と情報を共有しながら、患者さんの個別性に合わせた運動療法を提供していければと考えております。



リハビリテーション室
田中 創

麻酔科は、新生児から高齢者の方に行われる様々な手術に関与しており、周期期の患者さんの安全と安心を意識した麻酔管理を行っております。適切な麻酔計画を立てる為には、患者さんの疾患を正確にとらえ、必要な検査を行い、周期期に起こりうる全ての事象を想定しなければなりません。その為には幅広い知識に加え、患者さんに関わる医師だけでなく多職種の方々と情報を交換し、密接に連携することが重要となります。また手術を受けられる患者さんは痛みへの不安や麻酔への恐怖などを抱く方も多い為、術中及び術後鎮痛も綿密に計画を立てています。気道の確保も慎重に危険度を評価し、各種デバイスの準備も念入りに行います。

肥満外科チームの発足にあたり、麻酔科として私達は術前の患者さんの過体重に伴う様々な生命のリスクを理解し、基本に忠実な手法での麻酔管理を心掛けています。積極的にコミュニケーションを図り、Patient Firstの精神で安全な麻酔を提供していきます。

麻酔科 柘植 江里香

管理栄養士は術前・入院中・術後にわたり関わっていきます。

術前は、グラフ化体重記録や食事の写真、食行動質問票などを用いて食生活の問題点を抽出し、患者さんのライフスタイルにあわせて実行可能なことを考えていきます。フォーミュラ食(糖質、脂質を減らし、たんぱく質やビタミン、ミネラルを補う食品)1食置き換えを術前から提案し、食事の減量によるたんぱく質、ビタミン、ミネラルの不足を回避し、効果的な減量を目指します。また、術後の食事内容やリバウンド予防について術前から説明を行い、患者さんに術後の食生活をイメージしてもらうように心がけています。手術を受けると胃容量は約100ml程度となるため、食事の量や速度に注意が必要です。流動食で退院されるため、退院後の食事アップスケジュール(流動→半固形→固形)を入院中に説明しています。術後も定期的に栄養指導を実施し、リバウンド予防だけでなく必要な栄養素が不足していないかを評価し、長期的にフォローアップしていきます。



栄養管理室
NST 専任管理栄養士
中村 恭葉

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

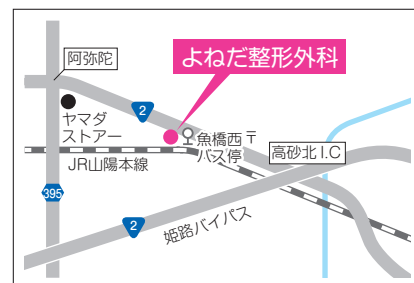
よねだ整形外科

診療科：整形外科／リハビリテーション科／放射線科

平成30年10月1日、高砂市阿弥陀町で「よねだ整形外科」を開院いたしました米田泰史と申します。それまでは高砂西部病院に6年間勤務しておりました。当院はオープンMRIを導入しており、狭いところが苦手な方でも安心して精密検査を行うことができ、また放射線科医(当院副院長)もいるため、より正確な診断が可能となっております。さらに当院はリハビリテーションに力を入れており、3人の理学療法士が常駐し、最新のリハビリ機器を導入しております。また短時間型(1-2時間)の通所リハビリテーション施設を併設しております、スポーツジムのような感覚で介護予防のリハビリテーションを行っております。皆様にご周知いただければ幸甚に存じます。手術や、より高度な治療を要する症例につきましては、加古川中央市民病院にご紹介させていただいております。引き続きまして地域医療の一助となるよう、頑張っておりまいますので、今後共よろしくお願ひ申し上げます。



院長：米田 泰史 先生



所在地：高砂市阿弥陀町北池35
 駐車場台数：52台
 URL：https://yoneda-seikei.com

TEL.079-448-2525

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 13:00~15:00	□	□	—	□	□	—	—
午後 16:00~19:00	○	○	—	○	○	—	—

○ 診察、リハビリテーション □ リハビリテーション

いのうえ皮膚ふ科

診療科：皮膚科／小児皮膚科

平成31年1月、姫路別所の地に「いのうえ皮膚ふ科」を開院させて頂くことになりました。皮膚疾患は外見に関わることも多く、うつらない病気でもうつるかのよう誤解されたり、不安になったりと精神的な負担も大きくなりがちです。私自身も思春期に皮膚炎に苦悩した経験があり、自身の経験をもとに「皮膚病のつらさ」に寄り添える医師であり続けたいと思っております。



院長：井上 友介 先生



当院では皮膚科での一般的な治療に加え、全身型の紫外線機器や多汗症に対する治療機器なども備えておりますので、加古川中央市民病院で診断していただきました慢性皮膚疾患に対する長期的な治療継続を必要とされる方にも幅広く対応させていただきます。当院は姫路市街地と加古川とのちょうど中間あたりに位置し、国道2号線沿いに面しており駐車場も広く備え、お車でもお気軽にご来院いただけます。

悩みながら来院された患者様が帰りの際には笑顔がみられるような診療、親身な対応をクリニック全体で努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

所在地：姫路市別所町佐土2丁目61
 駐車場台数：24台
 URL：https://inoue-derma.com/

TEL.079-252-4112

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	—	○	☆	—
午後 15:00~18:30	○	○	○	—	○	—	—

☆…9:00~13:00

医療法人社団 ふじひら歯科医院

診療科：歯科／小児歯科／矯正歯科／口腔外科

現在、日本人の80歳の平均残存歯数は15.3本であるとの統計があります。歯周病が心筋梗塞や脳卒中、糖尿病、肺炎、早産など、全身に影響することがあきらかになっています。最近では、認知症や癌にまで影響を及ぼしているとの研究もなされています。また、高齢者においてはオーラルフレイル(お口の虚弱)が、全身の機能低下のはじまりであると考えられております。



院長：藤平 敬 先生

当院には小さなお子様のむし歯予防から高齢者の咀嚼機能維持まで幅広い患者様が来院されます。歯を残す為の予防歯科やレーザーを用いた根管治療、そして歯を失った方には義歯とインプラント治療に力を入れております。

有病者の歯科治療や事故による外傷等の患者様が来院されたときには、東播磨医療圏域の基幹病院として加古川中央市民病院様には口腔外科をはじめ、専門性の高い各科の先生方と連携を取らせていただいているおかげで、何より患者様が安心して治療を受けていただける環境を提供できていると思っております。

地域のかかりつけ医としての役割を果たせるよう、今後も加古川中央市民病院との連携をはかり、患者様へのより詳しい情報提供ができるよう努めてまいります。

所在地：加古川市野口町二屋63-1
 駐車場台数：27台

TEL.079-425-8241

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後 15:00~19:00	○	○	○	○	○	○	—



いどう歯科口腔外科クリニック

診療科：歯科／口腔外科

当院は平成28年4月に開院し、加古川中央市民病院と連携をとりながら、地域のみなさまの健康に少しでもお役に立てるよう診療させていただいております。『口腔外科』として難抜歯や口腔内の外科的処置(外傷や嚢胞、腫瘍)、顎関節症などさまざまな疾患に対応し、また『歯科』として地域のみなさまのかかりつけ医になれるよう、歯周病やう蝕をはじめ、予防歯科や審美歯科、インプラント治療にいたる幅広い領域で貢献させていただく日々精進をかさね、患者様には少しでもリラックスして治療にのぞんでいただけるよう『あたたかい診療をお届けします』を心がけております。また、クリニックモールの他科(内科、心療内科、ペインクリニック)とも連携を取っており充実した医療の提供につとめております。



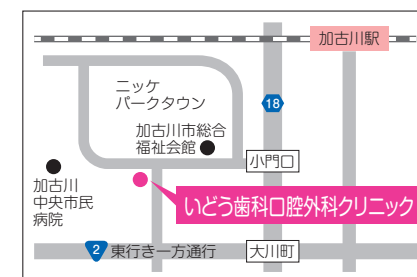
院長：井堂 信二郎 先生

スタッフ一同、地域医療の一端を担えるよう益々頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

所在地：加古川市加古川町寺家町303

ニッケパークタウンクリニックモール加古川1F
 駐車場台数：ニッケパークタウンの駐車場、または契約駐車場をご利用ください。

TEL.079-454-4182



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30~13:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 15:00~19:00	○	○	○	○	○	—	—